

## 高齢者の雇用に関する調査

### ご記入にあたってのお願い

1. この調査票にご記入いただいた内容は、すべて統計的に処理され、研究目的にのみ利用しますので、ありのままをご記入ください。
2. ご回答は、あてはまる番号に○印をつけていただくものと、□や（            ）、 \_\_\_\_\_ にご記入いただくものがあります。
3. ご回答の内容によって、設問がとぶ場合があります。あてはまる番号に○印をつけてから、矢印にそってお進みください。
4. 特にことわりのない場合、調査の回答時点は、**2015年7月1日現在**でお答えください。
5. この調査は、**企業**を単位として行っています。従って、**本社事業所だけでなく、支店、出張所、営業所等を含めた会社全体について**お答えください。
6. ご記入が終わりましたら、同封の返信用封筒で、**2015年7月31日（金）まで**にご投函ください。
7. 調査結果をご希望の方には、結果がまとまり次第、サマリーをお送りさせていただきますので、この調査票の最終ページの記入欄に、必要事項をご記入ください。
8. この調査につきご不明な点がありましたら、下記にお問い合わせください。

※ この調査の実施業務は、調査機関である株式会社日本統計センターに業務委託していますので、この調査についてのご質問は、当該機関の下記担当部署までお問い合わせください。なお、その他不明な点がありましたら、当機構の調査担当までご照会ください。

### ○この調査についてのご照会先

#### 【調査票の記入方法・締め切りなど実査に高齢者について】

株式会社日本統計センター 担当：門川（カドガワ）、渡邊  
(TEL：03-3861-5391、FAX：03-3866-4944)  
お問い合わせ時間(月～金曜日の平日)10:00～12:00、13:00～17:00



#### 【調査の趣旨・目的について】

独立行政法人 労働政策研究・研修機構 調査・解析部 担当：奥田  
(TEL：03-5903-6284、FAX：03-5903-6116)  
お問い合わせ時間(月～金曜日の平日)10:00～12:00、13:00～17:00

※ 労働政策研究・研修機構は、厚生労働省所管の独立行政法人で、労働政策に資する調査研究活動、労働についての情報収集・提供などの活動を行っています。(ホームページ URL <http://www.jil.go.jp>)

(ご回答に際して)

※本調査で、「正社員」とは、期間の定めのない雇用契約によって働く社員のことを指します。また「従業員」とは、正社員のほか、パートタイマー・アルバイト・嘱託社員・契約社員を含み、派遣社員・請負社員は除きます。ただし、貴社が労働者派遣事業者や業務請負会社であるときは、貴社における雇用区分に応じて、他社への派遣社員や他社で請負業務に従事する社員も「正社員」や「従業員」に含めてください。

# I. 定年制の状況と法改正への対応

## 【定年制の状況】

問1 貴社の正社員には定年がありますか (〇は一つ)。

- 1 定年なし → 付問 「定年なし」の企業にお尋ねします。
- 2 定年あり → 付問 「定年なし」となった時期はいつですか (〇は一つ)。

- 1 最近3年以内に改定した
- 2 それ以前から定年はなかった

付問を回答後、「定年なし」の企業は、問2 (3頁)に進んでください。

「2 定年あり」と回答した企業にお尋ねします。

付問(1) 現在の定年年齢は何歳ですか (複数の定年年齢が設けられている場合、対象となる正社員が最も多い定年年齢を記入してください) (〇は一つ)。

- |       |        |               |
|-------|--------|---------------|
| 1 60歳 | 6 65歳  | 11 70歳        |
| 2 61歳 | 7 66歳  | 12 71歳以上 ( 歳) |
| 3 62歳 | 8 67歳  |               |
| 4 63歳 | 9 68歳  |               |
| 5 64歳 | 10 69歳 |               |

現在の定年年齢が64歳以下 (選択肢1~5) の企業は、以下の付問(2)へ

現在の定年年齢が65歳以上 (選択肢6~12) の企業は、問2 (3頁) へ

## 【高年齢者雇用確保措置 (継続雇用制度)】

\*平成25年4月施行の改正高年齢者雇用安定法の高年齢者雇用確保措置においては、原則として希望者全員を65歳まで継続雇用することとされていますが、これまで継続雇用制度の対象者を限定できる仕組みを利用していた企業においては、経過措置として、継続雇用制度の対象者を限定する基準を年金支給開始年齢以上の者について定めることを認めています。

付問(2) 貴社は、希望者全員を対象とする継続雇用制度を就業規則等で定めていますか (〇は一つ)。

- 1 制度として定めていない → 問2 (3頁) へ
- 2 就業規則等で継続雇用制度を定めている

付問(3) 定年に到達した正社員のうち、何%程度の人が継続雇用を希望していますか。過去3年間でののおおよその平均でお答えください (〇は一つ)。

- |             |            |            |              |
|-------------|------------|------------|--------------|
| 1 全員        | 4 70~80%未満 | 7 30~50%未満 | 10 定年到達者がいない |
| 2 90~100%未満 | 5 60~70%未満 | 8 10~30%未満 |              |
| 3 80~90%未満  | 6 50~60%未満 | 9 10%未満    |              |

付問(4) 継続雇用制度の継続雇用先は次のどこですか。(〇はいくつでも)。

- 1 自社
- 2 親会社・子会社等
- 3 関連会社等

## Ⅱ. 高年齢期(50代以上)の正社員に対する企業の取組み状況

### 【自社内勤務継続率】

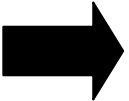
問2 貴社で50歳当時の同世代の正社員数を100とすると、現在、それぞれの年齢層で、どのくらいの割合の正社員が自社内で働き続けていますか。おおよその割合でお答えください。

50歳当時の同世代の正社員数を100とした場合に、現在、下記の年齢層で働き続けている割合

現在の年齢	現在も働いている割合	<回答例>
【50歳当時の同世代の正社員数を100】		
50代前半	約( )%	約(95)%
50代後半	約( )%	約(90)%
60代前半	約( )%	約(70)%
60代後半	約( )%	約(10)%
70歳以上	約( )%	約(5)%

### 【早期退職優遇制度等の実施状況】

問3 貴社では50歳以上の正社員を対象として、a～eの取組みを実施していますか。実施しているものに〇をしてください。また、実施している取組みについては、昨年(2014年)、制度を利用した正社員のおおよその人数をお答えください。

取組み実施の有無(実施しているものに〇) ↓	a～eのうち、〇をつけた取組みのみ、活用人数を回答	対象となる50歳以上のうち、制度を活用した人数
a. 早期退職優遇制度		約( )人
b. 転籍		約( )人
c. 出向後定年時に移籍		約( )人
d. 転職支援のための取組み(転籍は除く)		約( )人
e. 独立開業支援のための取組み		約( )人

### 【セミナー・説明会、能力開発、個別面談】

問4(1) 貴社では60歳に到達する前の正社員を対象に、60歳以降の働き方や生活に関するセミナー・説明会を実施していますか。(〇は一つ)。

- 1 実施している⇒ \_\_\_\_\_ 歳から参加可能      2 実施していない

↓

付問 セミナー・説明会の参加者に60歳以降の状況について会社側から説明しているのは、以下のうち、どの項目ですか。(〇はいくつでも)。

- |                      |               |
|----------------------|---------------|
| 1 雇用形態(正社員か、非正社員かなど) | 6 仕事内容        |
| 2 雇用契約期間             | 7 年金など公的給付の状況 |
| 3 賃金水準               | 8 その他         |
| 4 労働時間、勤務日数          | (具体的に: _____) |
| 5 勤務場所               |               |

(2) 貴社では、60歳以降の雇用を円滑に進めるために、60歳に到達する前の正社員を対象に能力開発(研修)を実施していますか(○は一つ)。

1 実施している⇒ \_\_\_\_\_ 歳から実施                      2 実施していない

↓

付問 実施の目的は何ですか(○はいくつでも)。

- 1 これまで蓄積してきたスキルやノウハウをさらに伸ばすため
- 2 予想される仕事の変更に対応するため
- 3 職場でのコミュニケーションのため
- 4 60歳以降、継続して雇用された際の基本的な心構えのため
- 5 管理職経験者等に対する意識改革のため
- 6 その他(具体的に: \_\_\_\_\_ )

(3) 貴社では60歳以降の雇用(継続雇用等)に際して、従業員に対して個別面談等の機会を設けていますか(○は一つ)。

1 個別面談等の機会を設けている                      2 個別面談等の機会を設けていない

↓

付問 従業員に対する個別面談等は、どのような目的で実施しましたか(○はいくつでも)。

- 1 労働条件(勤務条件、賃金、評価制度等)を説明するため
- 2 期待する役割を明確に伝えるため
- 3 従業員との意思疎通のため
- 4 本人の仕事の希望を聞くため
- 5 本人の家庭の事情(介護等)を把握するため
- 6 その他(具体的に: \_\_\_\_\_ )

### Ⅲ. 60代前半の継続雇用者の勤務実態

※以下の設問で使われている「継続雇用者」とは、60歳に到達するまで貴社に正社員として勤続し、60歳以降も貴社で雇用され続けている従業員(正社員または非正社員)のことを意味します。

#### 【60代前半の雇用形態】

問5 60代前半(60歳以上64歳以下)の継続雇用者(雇用確保措置としてグループ・関連会社等に継続雇用された者を含む)は、どのような雇用形態で働いていますか(○はいくつでも)。また、60代前半の継続雇用者全体に占めるおおよその割合も併せてご記入ください。

継続雇用者の雇用形態(○はいくつでも) ↓		60代前半の継続雇用者全体に占めるおおよその割合
1 正社員	→	約 _____ %
2 嘱託・契約社員	→	約 _____ %
3 パート・アルバイト	→	約 _____ %
4 グループ・関連会社等で継続雇用された従業員(出向・転籍)	→	約 _____ %
5 その他(具体的に: _____ )	→	約 _____ %
* 1～5の合計で100%		計100%

**【60代前半の仕事内容と配置】**

問6 貴社で働いている60代前半の継続雇用者の仕事内容についてうかがいます。

(1) 継続雇用後の仕事内容についてお尋ねします。定年前(60歳頃)と比べて、仕事の内容や責任は変わりますか(最も多いケースに○は一つ)。

- 1 定年前(60歳頃)とまったく同じ仕事
- 2 定年前(60歳頃)と同じ仕事であるが、責任の重さが変わる
- 3 定年前(60歳頃)と一部異なる仕事
- 4 定年前(60歳頃)とまったく異なる仕事
- 5 その他(具体的に )

(2) 継続雇用者を配置する際には、どのような点に配慮していますか(○はいくつでも)。

- 1 本人の希望への配慮
- 2 慣れている仕事に継続して配置すること
- 3 肉体的に負担の少ない仕事に配置すること
- 4 設備や作業環境の改善
- 5 マニュアルや作業指示書の改善
- 6 労働力が不足している部署に優先的に配置すること
- 7 技能やノウハウの継承が円滑に進むようにすること
- 8 従業員が互いに気兼ねをしないように配置すること
- 9 60歳以上の従業員を対象とした特別な健康診断の実施
- 10 管理職を経験した者の意識改革
- 11 その他(具体的に: )
- 12 特に配慮していることはない

**【60代前半の雇用確保上の課題】**

問7 60代前半層の雇用確保にあたって、貴社で課題となっているのはどのような点ですか(○はいくつでも)。

- 1 高年齢社員の担当する仕事を自社内に確保するのが難しい
- 2 自社の子会社・関連会社等に、高年齢社員の雇用の場を確保するのが難しい
- 3 高年齢者の活用に向けた設備や作業環境の整備が進まない
- 4 高年齢社員を活用するノウハウの蓄積がない
- 5 管理職社員であった者の扱いが難しい
- 6 定年後も雇用し続けている従業員の処遇の決定が難しい
- 7 定年後雇用し続けるための措置について、労働組合・従業員代表等の理解がなかなか得られない
- 8 若・壮年層のモラルが低下する
- 9 若年層が採用できず、年齢構成がいびつになる
- 10 人件費負担が増える
- 11 労働意欲が低い
- 12 生産性が低い
- 13 その他(具体的に: )
- 14 特に課題はない

## IV. 60代前半の賃金・評価制度

### 【60代前半の賃金】

問8 60代前半(60歳以上64歳以下)の賃金水準についてお尋ねします。

- (1) 貴社で働くフルタイム勤務の継続雇用者の平均的な年収はどの程度ですか。おおよその金額をご記入ください(年収には、貴社が支給する賃金・賞与のほか、貴社から支給される企業年金、公的給付(在職老齢年金・高年齢雇用継続給付)も含まれます)。

平均的な年収(給与+企業年金+公的給付)・・・約( )万円

- (2) 問8(1)の平均的な年収について、①貴社が支給する賃金・賞与、②貴社の企業年金の支給部分、③在職老齢年金、④高年齢雇用継続給付、の割合は、それぞれおおよそどのくらいですか。以下におおよその割合をご記入ください。①～④の各項目に該当するものがない場合は「0」とご記入ください。

①貴社が支給する賃金・賞与				%
②企業年金				%
③在職老齢年金				%
④高年齢雇用継続給付				%
年収総額(①+②+③+④)	1	0	0	%

- (3) 61歳時点での賃金(賃金・賞与を合計した年間賃金)は、60歳直前の水準を100とすると、どの程度になりますか。①最も高い水準の人、②平均的な水準の人、③最も低い水準の人、それぞれ記入してください。

61歳時点の賃金水準(60歳直前時点=100)			
	① 最も高い水準の人	② 平均的な水準の人	③ 最も低い水準の人
回答例	90	60	50

### 【継続雇用の実施に伴う賃金水準・制度の変更】

問9 貴社においては、60代前半の継続雇用を実施するために、近年、若年者・中年者の賃金水準や制度を変更しましたか(もっとも近いと思うものに○を一つ)。

- 1 若年者・中年者の賃金の水準・制度は近年変更していない
- 2 近年賃金の水準・制度を見直したが、60代前半の継続雇用の実施は直接関係がない
- 3 60代前半の継続雇用を実施することも踏まえ、近年賃金の制度を見直したが、若年者・中年者の水準が全体的に低下しているわけではない
- 4 60代前半の継続雇用を実施するために、近年若年者・中年者の賃金水準を全体的に低下させた

### 【60代前半の継続雇用者の賃金水準決定の際に考慮している点】

問10 60代前半の継続雇用者の賃金水準を決める際に、考慮しているのはどういった点ですか。①定年到達前の従業員（定年制度がない企業の従業員も含む）、②定年到達後、継続雇用制度によって雇用されている従業員それぞれについて、あてはまるものすべてに○をしてください。

賃金水準決定の際に考慮している点 (①、②それぞれ、○はいくつでも)	①定年到達前の 従業員	②定年到達後、継続雇 用制度によって雇用 されている従業員
業界他社の状況	1	1
担当する職務の市場賃金・相場	2	2
60歳到達時の賃金水準	3	3
自社の初任給水準	4	4
自社所在地域の最低賃金	5	5
個人の知識、技能、技術	6	6
退職金の受給状況	7	7
在職老齢年金の受給状況	8	8
高年齢雇用継続給付の受給状況	9	9
その他（具体的に： _____ )	10	10

付問 賃金水準決定の際に最も重視している点（問10の1～10の番号を記入してください）

- ① 定年到達前の従業員（定年制度がない企業の従業員も含む）・・・ ( )
- ② 定年到達後、継続雇用制度によって雇用されている従業員・・・ ( )

### 【今後の高年齢者の賃金のあり方】

問11 高年齢者の賃金制度のあり方についてお尋ねします。貴社において、フルタイムで定年前と同じ仕事をしている高年齢者の賃金については、どのようにお考えですか。それぞれの質問について、お答えください（各項目で○は一つ）。

	高年齢者の賃金に対する考え方（各項目で○は一つ）				
	そう 思う	やや そう 思う	どちら とも いえ ない	あまり そう 思わ ない	そう 思わ ない
1 高齢期だけでなく若年期も含めた全体としての賃金制度として考えるべき	1	2	3	4	5
2 定年後の高年齢者も、評価制度に基づき賃金を決めるのが望ましい	1	2	3	4	5
3 賃金は仕事の対価なので、在職老齢年金があっても、賃金は下げるべきではない	1	2	3	4	5
4 賃金は仕事の対価なので、高年齢雇用継続給付があっても、賃金は下げるべきではない	1	2	3	4	5
5 定年後でも仕事が同じなら原則、賃金は下げるべきではない	1	2	3	4	5
6 会社は雇用確保のために再雇用するのだから、賃金が低下しても構わない	1	2	3	4	5
7 賃金の原資が限られており、高年齢者の賃金が高いままだと現役世代の賃金が下がるので、高年齢者の賃金を下げても構わない	1	2	3	4	5
8 高年齢者の賃金は一律でも構わない	1	2	3	4	5

**【60代前半の評価制度】**

問12 高年齢者の仕事に対する評価制度についてお尋ねします。貴社では現在、60歳代前半層に評価制度を導入していますか (〇は一つ)。

- 1 評価制度を導入済 →付問へ
- 2 評価制度の導入を検討中
- 3 評価制度を導入する予定はない (その理由: )

付問 問12で、「1 評価制度を導入済」と回答した企業にお尋ねします。評価結果をどのように活用していますか (〇は一つ)。

- 1 評価結果に基づき個別面談等を行い、賃金を改定
- 2 評価結果に基づき個別面談等を行うが、賃金には反映しない
- 3 評価は行うが、個別面談等を行わず、賃金にも反映しない
- 4 その他 (具体的に: )

**【在職老齢年金】**

問13 在職老齢年金が支給される場合、貴社では、支給対象となっている従業員の賃金を調整しますか (〇は一つ)。

- 1 支給額と同額を賃金で調整する
- 2 支給額の一部を賃金で調整する
- 3 賃金は調整しない
- 4 その他 (具体的に: )
- 5 在職老齢年金の支給状況を把握していない

**【高年齢雇用継続給付】**

問14 貴社の従業員の中に、高年齢雇用継続給付の支給を受けている人はいますか (〇は一つ)。

- 1 いる
- 2 いない

付問(1) 現在支給を受けている60歳以上の従業員の人数は・・・約\_\_\_\_\_名

付問(2) 高年齢雇用継続給付が支給される場合、貴社では支給対象となっている従業員の賃金を調整しますか (〇は一つ)。

- 1 支給額と同額を賃金で調整する
- 2 支給額の一部を賃金で調整する
- 3 賃金は調整しない
- 4 その他 (具体的に: )

付問(3) 高年齢雇用継続給付の支給がこれまでの労働者の雇用継続を決める要因になりましたか (〇は一つ)。

- 1 雇用継続を決める大きな要因になった
- 2 雇用継続を決める要因の一つにはなった
- 3 要因にはならなかった



## V. 65歳以降の高年齢者の雇用

### 【65歳以降の雇用確保する制度・仕組みの運用基準】

問15 65歳以降の高年齢者雇用状況についてお尋ねします。貴社では、希望すれば65歳以降も働きつづけることができますか (〇は一つ)。

1 65歳以降は働くことができない → 付問(9) (11頁) へ

2 65歳以降は希望したら基準に該当した者は働くことができる

3 65歳以降も希望者全員が働くことができる

付問(1) 問15で、「2 65歳以降は希望したら基準に該当した者は働くことができる」と回答した企業にお尋ねします。

その基準はどのようなものですか (〇はいくつでも)。

- 1 働く意思・意欲があること
- 2 出勤率、勤務態度
- 3 健康上支障がないこと
- 4 現職を継続できること
- 5 会社が提示する職務内容に合意できること
- 6 会社が提示する労働条件 (賃金の低下を含む) に合意できること
- 7 熟練や経験による技能・技術をもっていること
- 8 専門的な資格をもっていること
- 9 他の社員を指導・教育できること
- 10 一定の業績評価
- 11 定年到達前についていた役職
- 12 定年到達時の社内における格付け
- 13 特定健康診断の結果
- 14 その他 (具体的に: )

付問(2) 問15で、「2 65歳以降は希望したら基準に該当した者は働くことができる」「3 65歳以降も希望者全員が働くことができる」と回答した企業にお尋ねします。

制度として、65歳以降の年齢上限を設けていますか (〇は一つ)。

1 上限年齢を定めている → 付問 上限年齢を定めている企業にお尋ねします。

2 上限年齢を定めていない 制度上、上限年齢は何歳ですか (〇は一つ)。

- |       |               |
|-------|---------------|
| 1 66歳 | 4 69歳         |
| 2 67歳 | 5 70歳         |
| 3 68歳 | 6 71歳以上 ( ) 歳 |

付問(3) 65歳以降の高年齢者を雇用されている理由は何ですか (〇はいくつでも)。

- 1 意欲と能力があれば特に労働者の年齢は関係がないため
- 2 高年齢者の雇用確保は社会的な要請なので
- 3 高年齢者の身につけた能力・知識などを活用したいため
- 4 若年者に対する技術や仕事への姿勢についての教育効果を期待できるため
- 5 安い賃金で雇用できるため
- 6 まじめに働いてもらえるため
- 7 若年者を採用できないため
- 8 その他 (具体的に: )

付問(4) 貴社で働いている 65 歳以降の高年齢者のうち、勤務日数および勤務時間がフルタイム以外の者はいますか。該当者が最も多いものをお答えください (〇は一つ)。

- 1. フルタイムで働く者がほとんどである → 付問(5) へ
- 2. フルタイム以外で働く者がほとんどである

付問 1 「2. フルタイム以外で働く者がほとんどである」と回答した企業にお尋ねします。以下の勤務日数・勤務時間で働いている者はいますか (〇はいくつでも)。

- 1 短日数 (定年前より日数が減る、時間は同じ)
- 2 短時間 (定年前と日数は同じ、時間が減る)
- 3 短日数・短時間 (定年前より日数、時間ともに減る)
- 4 その他 (具体的に: \_\_\_\_\_ )

付問 2 フルタイム以外で働く者が多い理由は何ですか (〇はいくつでも)。

- 1 人件費を抑えるため
- 2 自社内でのフルタイムでの高年齢者向けの仕事の確保が難しいため
- 3 高年齢者の体力に配慮するため
- 4 高年齢者の就労ニーズ (日数・時間) の多様化に対応するため
- 5 社会保険の関係で週 20 時間以内に抑えたいため
- 6 通勤費を抑えたいため
- 7 その他 (具体的に: \_\_\_\_\_ )

付問(5) 現在、貴社の正社員もしくは継続雇用者で、65 歳以降の高年齢者が雇用されていますか (〇は一つ)。

- 1 いる                      2 いない → 問 16 (12 頁) へ

「1 いる」と回答した企業にお尋ねします。

付問 1 貴社に雇用されている 65 歳以降の高年齢者の最長年齢は何歳ですか (〇は一つ)。

- 1 66 歳
- 2 67 歳
- 3 68 歳
- 4 69 歳
- 5 70 歳
- 6 71 歳以上 ( \_\_\_\_\_ ) 歳

付問 2 65 歳以降の当該高年齢者が就いている仕事 (職種) は何ですか (〇はいくつでも)。また、そのうち、最も多い仕事は何ですか。

- |              |                  |
|--------------|------------------|
| 1 管理的な仕事     | 7 農林漁業の仕事        |
| 2 専門的・技術的な仕事 | 8 生産工程の仕事        |
| 3 事務的な仕事     | 9 輸送・機械運転の仕事     |
| 4 販売の仕事      | 10 建設・採掘の仕事      |
| 5 サービスの仕事    | 11 運搬・清掃・包装等の仕事  |
| 6 保安の仕事      | 12 その他 ( _____ ) |

→ 最も該当者が多い仕事 (職種) の番号・・・ ( \_\_\_\_\_ )

付問3 65歳以降の当該高年齢者が就いている仕事(職種)は、65歳前と同じですか(○は一つ)。

- 1 ほとんどの者が同じ仕事(職種)に就いている
- 2 ほとんどの者が異なる仕事(職種)に就いている
- 3 ケース・バイ・ケース

**【65歳以上の者の賃金】**

付問(6) 65歳以上の者の賃金水準についてお尋ねします。貴社で働く65歳以上の平均的な年収はどの程度ですか。おおよその金額をご記入ください(年収には、貴社が支給する賃金・賞与のほか、貴社から支給される企業年金、公的給付も含まれます)。

平均的な年収(給与+企業年金+公的給付)・・・約( )万円

付問(7) 付問(6)の平均的な年収について、①貴社が支給する賃金・賞与、②貴社の企業年金の支給部分、③厚生年金、④その他公的給付、の割合は、それぞれおおよそどのくらいですか。以下におおよその割合をご記入ください。①～④の各項目に該当するものがない場合は「0」とご記入ください。

①貴社が支給する賃金・賞与				%
②企業年金				%
③厚生年金				%
④その他公的給付				%
年収総額(①+②+③+④)	1	0	0	%

付問(8) 66歳時点での賃金(賃金・賞与を合計した年間賃金)は、65歳直前の水準を100とすると、どの程度になりますか。①最も高い水準の人、②平均的な水準の人、③最も低い水準の人、それぞれ記入してください。

66歳時点の賃金水準(65歳直前時点=100)			
	① 最も高い水準の人	② 平均的な水準の人	③ 最も低い水準の人
回答例	100	90	80

→付問(8)を回答後、問16(12頁)に進んでください。

付問(9) 問15で、「1 65歳以降は働くことができない」と回答した企業にお尋ねします。過去3年間で、65歳で辞めた人の中で、65歳以降も継続雇用を希望していた人がいましたか(○は一つ)。

- 1 希望者がいた
- 2 明確にはわからないが、希望者がいた可能性がある
- 3 希望者はいなかった(明確にはわからないが、いなかったと思われる)

(以下、すべての企業にお尋ねします)

**【高年齢雇用継続給付】**

問16 65歳以降は高年齢雇用継続給付の支給がされないことが、65歳以降の雇用継続の阻害要因になりましたか。(〇は一つ)。

- 1 65歳以降の雇用継続を阻害する大きな要因となった
- 2 65歳以降の雇用継続を阻害する要因の一つとなった
- 3 影響はなかった

**【雇用保険料】**

問17 65歳以降の雇用保険料についてお聞きします。

(1) 65歳以降は雇用保険料が免除されるという仕組みを知っていましたか。(〇は一つ)。

- 1 知っていた
- 2 知らなかった

(2) 65歳以降の方の雇用保険料が免除されていることは、貴社の65歳以上の方の雇用にどの程度影響があると考えていますか。(〇は一つ)。

- 1 雇用保険料が免除されていることが、65歳以上の方を雇用するインセンティブになっている
- 2 ほとんど関係ない
- 3 わからない

(3) 仮に65歳以降の方の雇用保険料が免除されない場合、今後の貴社の65歳以上の方の雇用に影響が生ずると思いますか。(〇は一つ)。

- 1 大いに影響する
- 2 具体的な程度はわからないが、否定はできない
- 3 影響はない
- 4 わからない

**【65歳以上の雇用・就業のあり方】**

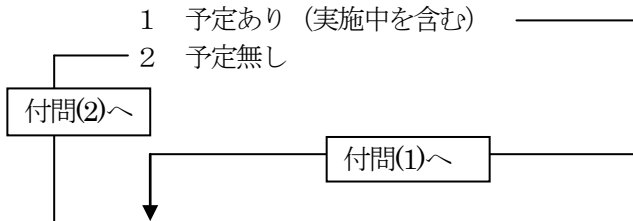
問18 65歳以上の今後の雇用・就業にあり方について、お尋ねします。貴社では、今後の高年齢者の雇用・就業について、どのようにお考えですか。(それぞれの年齢層であてはまるものすべてに〇)。

	65歳～69歳	70歳～74歳
企業として希望者全員をできるだけ雇用したい	1	1
高年齢者は個々人で異なるため、会社の基準を設けて適合者を雇用したい	2	2
高年齢者の創業を支援したい	3	3
子会社・関連会社等で高年齢者を活用したい	4	4
再就職を斡旋したい	5	5
雇用より、地域のボランティア活動で活躍してほしい	6	6
雇用より、シルバー人材センターを利用して就労してほしい	7	7
雇用より、NPOで活躍してほしい	8	8
健康の維持・管理に注力してほしい	9	9
その他(具体的に: )	10	10

【60代後半(65歳~69歳)の高年齢者活用について】

問19 60代後半(65歳~69歳)の高年齢者の活用の考え方についてお尋ねします。

貴社では今後、65歳~69歳までの高年齢者の雇用を確保する予定(実施中を含む)がありますか(〇は一つ)。



付問(1) 問19の60代後半(65歳~69歳)の雇用確保について、「1 予定あり(実施中を含む)」と回答した企業にお尋ねします。

① 貴社では、60代後半(65歳~69歳)で雇用確保措置が必要と考える理由は何ですか(〇はいくつでも)。

- 1 意欲と能力があれば特に労働者の年齢は関係がないため
- 2 高年齢者の雇用確保は社会的な要請なので
- 3 高年齢者の身につけた能力・知識などを活用したいため
- 4 若年者に対する技術や仕事への姿勢についての教育効果を期待できるため
- 5 安い賃金で雇用できるため
- 6 まじめに働いてもらえるため
- 7 若年者を採用できないため
- 8 その他(具体的に: )

② 60代後半(65歳~69歳)の雇用確保措置を実施する場合に、貴社で必要になると思われる取組み、あるいはすでに実施している取組みはどのようなものですか(〇はいくつでも)。

- 1 継続雇用者の処遇改定
- 2 設備や作業環境の整備
- 3 適職開拓の充実
- 4 教育訓練の強化・充実
- 5 新たな勤務シフトの導入
- 6 高年齢者の健康確保措置
- 7 特に必要な取組みはない
- 8 その他(具体的に: )

→付問(1)②を回答後、問20(14頁)に進んでください。

付問(2) 問19の60代後半(65歳~69歳)の雇用確保について「2 予定無し」と回答した企業にお尋ねします。

貴社では、60代後半(65歳~69歳)の高年齢者の雇用確保が不要と考える理由は何ですか(〇はいくつでも)。

- 1 生産性(能力・技能・成果など)が低い者が多いため
- 2 新しい技術・知識への対応力などが低い者が多いため
- 3 意欲などが低い者が多いため
- 4 社内での協調性・組織忠実性・コミュニケーション等に課題がある者が多いため
- 5 病気や労災事故のリスクが高いため
- 6 高年齢者は能力などに個人差が大きく労働条件や処遇などの個別対応がしきれないため
- 7 特に雇用が困難な理由はないが、従業員の世代交代をしたいため
- 8 特に雇用が困難な理由はないが、一般的に仕事の引退時期と考えられているため
- 9 その他(具体的に: )

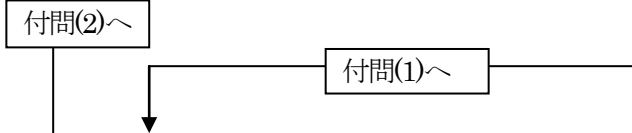
→付問(2)を回答後、問21(15頁)に進んでください。

【70代前半(70歳~74歳)の高年齢者活用について】

問20 70代前半(70歳~74歳)の高年齢者の活用の考え方についてお尋ねします。

貴社では今後、70代前半(70歳~74歳)までの高年齢者の雇用を確保する予定(実施中を含む)がありますか(○は一つ)。

- 1 予定あり(実施中を含む)
- 2 予定無し



付問(1) 問20の70代前半(70歳~74歳)の雇用確保について、「1 予定あり(実施中を含む)」と回答した企業にお尋ねします。

① 貴社では、70代前半(70歳~74歳)で雇用確保措置が必要と考える理由は何ですか(○はいくつでも)。

- 1 意欲と能力があれば特に労働者の年齢は関係がないため
- 2 高年齢者の雇用確保は社会的な要請なので
- 3 高年齢者の身につけた能力・知識などを活用したいため
- 4 若年者に対する技術や仕事への姿勢についての教育効果を期待できるため
- 5 安い賃金で雇用できるため
- 6 まじめに働いてもらえるため
- 7 若年者を採用できないため
- 8 その他(具体的に: )

② 70代前半(70歳~74歳)の雇用確保措置を実施する場合に、貴社で必要になるとと思われる取組み、あるいはすでに実施している取組みはどのようなものですか(○はいくつでも)。

- |              |               |
|--------------|---------------|
| 1 継続雇用者の処遇改定 | 5 新たな勤務シフトの導入 |
| 2 設備や作業環境の整備 | 6 高年齢者の健康確保措置 |
| 3 適職開拓の充実    | 7 特に必要な取組みはない |
| 4 教育訓練の強化・充実 | 8 その他(具体的に: ) |

→付問(1)②を回答後、問21(15頁)に進んでください。

付問(2) 問20の70代前半(70歳~74歳)の雇用確保について「2 予定無し」と回答した企業にお尋ねします。

貴社では、70代前半(70歳~74歳)の高年齢者の雇用確保が不要と考える理由は何ですか(○はいくつでも)。

- 1 生産性(能力・技能・成果など)が低い者が多いため
- 2 新しい技術・知識への対応力などが低い者が多いため
- 3 意欲などが低い者が多いため
- 4 社内での協調性・組織忠実性・コミュニケーション等に課題がある者が多いため
- 5 病気や労災事故のリスクが高いため
- 6 高年齢者は能力などに個人差が大きく労働条件や処遇などの個別対応がしきれないため
- 7 特に雇用が困難な理由はないが、従業員の世代交代をしたいため
- 8 特に雇用が困難な理由はないが、一般的に仕事の引退時期と考えられているため
- 9 その他(具体的に: )

## VI. 高年齢者の中途採用

### 【中途採用の応募・採用状況】

問2 1 貴社では、昨年(2014年)4月以降、高年齢者にかかわらず中途採用者(非正社員も含む)の採用を行いましたか(〇は一つ)。

1 行った                          2 行ってない ⇒ 問2 3 (16頁)へ

↓

付問 中途採用者の中に55歳以上の労働者はいましたか(〇は一つ)。

1 いた ⇒ 問2 2へ                  2 いない ⇒ 問2 3 (16頁)へ

### 【中高年齢者の中途採用実績と今後の見通し】

問2 2 問2 1の付問で、55歳以上の中途採用者が「1 いた」と回答した企業にお尋ねします。①55歳~59歳、②60歳~64歳、③65歳以上の各年齢層で中途採用をした者の有無、および各年齢層における採用人数、採用経路、採用理由、所定労働時間、賃金、採用時の雇用形態について、それぞれご記入ください。

中途採用時の年齢→		記入例 (60~64歳)	55~59歳	60~64歳	65歳以上
55歳以上の各年齢層で中途採用した者(〇は一つ)	1. いない	1	1	1	1
	2. いる	②	2	2	2

1. 中途採用した人数(2014年4月からの1年間) (中途採用者のうち、正規、非正規のそれぞれの人数)	合計	2人	合計	人	合計	人	合計	人
正規	0人		正規	人	正規	人	正規	人
非正規	2人		非正規	人	非正規	人	非正規	人

2. 採用経路(〇はいくつでも)	1 ハローワーク	①	1	1	1
	2 民間職業紹介機関	2	2	2	2
	3 求人誌・新聞・広告	③	3	3	3
	4 インターネット	4	4	4	4
	5 親会社・関連会社	5	5	5	5
	6 縁故	6	6	6	6
	7 紹介予定派遣	7	7	7	7
	8 その他( )	8	8	8	8

3. 採用理由(〇はいくつでも)	1 経営幹部の確保	1	1	1	1
	2 中間管理職の確保	②	2	2	2
	3 高い技能・技術・ノウハウの活用	3	3	3	3
	4 若い従業員への技能・ノウハウの伝授	④	4	4	4
	5 勤務態度や仕事ぶりがまじめ	5	5	5	5
	6 応募があったから	6	6	6	6
	7 比較的安い賃金で採用できるため	7	7	7	7
	8 その他( )	8	8	8	8

(以下、最も該当者が多いケースでご記入ください。)

4. 所定労働時間(1週あたり)	30時間	時間	時間	時間
5. 賃金(該当するものに金額を記入)	月額	万円	万円	万円
	日額	6000円	円	円
	時間額	円	円	円
6. 採用時の雇用形態(〇は一つ)	1 正社員	1	1	1
	2 契約社員	2	2	2
	3 パート・アルバイト	3	3	3
	4 嘱託	④	4	4
	5 その他( )	5	5	5

問2 1の付問で、55歳以上の中途採用を実施した企業にお尋ねします。

付問(1) 採用後、何歳まで雇用する予定ですか。中途採用時の各年齢層それぞれにおいて、お答えください(各年齢層で○は一つ)。採用していない年齢層は空欄のままで結構です。

中途採用時の年齢→	55歳～59歳	60歳～64歳	65歳以上
65歳未満	1	1	1
65歳	2	2	2
66歳	3	3	3
67歳	4	4	4
68歳	5	5	5
69歳	6	6	6
70歳	7	7	7
71歳以上( )歳	8	8	8

付問(2) 中途採用した中高年齢者の仕事ぶりをどう評価していますか(それぞれの年齢層であてはまるものすべてに○)。採用していない年齢層は空欄で結構です。

中途採用時の年齢→	55歳～59歳	60歳～64歳	65歳以上
高い管理能力・指導力をもっている	1	1	1
高い専門能力をもっている	2	2	2
勤務態度や仕事ぶりが真面目である	3	3	3
労働意欲が高い	4	4	4
幅広い人脈をもっている	5	5	5
能力に個人差がある	6	6	6
採用時に期待した働きをしていない	7	7	7
その他 (具体的に: )	8	8	8

(以下、すべての企業にお尋ねします)

問2 3 高年齢者の中途採用についてお尋ねします。

(1) 55歳以上の中途採用者については、どのようなことを重視して採用していますか(それぞれの年齢層であてはまるものすべてに○)。

中途採用時の年齢→	55歳～59歳	60歳～64歳	65歳以上
知識・技能	1	1	1
若者が採用できない場合	2	2	2
性格、人柄	3	3	3
通勤可能な範囲に居住	4	4	4
短時間でも勤務可能な場合	5	5	5
賃金が安くても応募してくれる場合	6	6	6
本人の健康	7	7	7
中途採用は考えていない	8	8	8
その他(具体的に: )	9	9	9



(2) 今後、55歳以上の各年齢層における採用を拡大するには、どのような条件整備が必要ですか(それぞれの年齢層であてはまるものすべてに○)。

中途採用時の年齢→	55歳～59歳	60歳～64歳	65歳以上
仕事の確保	1	1	1
社内全体の年齢構成	2	2	2
社内全体の人件費の増加	3	3	3
管理職との人間関係	4	4	4
管理職以外との人間関係	5	5	5
本人の意欲・モチベーションの維持・向上	6	6	6
本人の能力の維持・向上	7	7	7
本人の健康	8	8	8
役割と責任の明確化	9	9	9
その他 (具体的に： )	10	10	10

## VII. 各種支援制度

### 【各種支援制度】

問24 高齢者雇用に関する国(独立行政法人を含む。)の各種支援制度についてお尋ねします。「高齢者雇用継続給付」、「特定求職者雇用開発助成金」、「高齢者雇用安定助成金」などの各種支援制度をご存知ですか。①認知状況、②利用状況、③利用してお感じになられたこと、または、利用しなかった理由をご記入ください(18頁に各種制度の概要を記載しています)。

	①認知状況 (○は一つ)		→	②利用状況 (○は一つ)		③利用してお感じになったこと、 または、利用しなかった理由
	知らない	知っている		利用した	利用していない	
1 高齢者雇用継続給付	1	2	→	1	2	
2 特定求職者雇用開発助成金	1	2	→	1	2	
3 高齢者雇用安定助成金	1	2	→	1	2	
4 労働移動支援助成金	1	2	→	1	2	
5 高齢・障害・求職者雇用支援機構の高齢者雇用アドバイザーによる相談・助言	1	2	→	1	2	
6 高齢者雇用優良企業の表彰	1	2	→	/	/	

※厚生労働省等の高年齢者等の雇用の促進に際して、以下の各種制度があります。

- \* 高年齢雇用継続給付とは、60歳到達時等の時点に比べて賃金が75%未満に低下した状態で働き続ける60歳以上65歳未満の者に支給される給付のこと。
- \* 特定求職者雇用開発助成金とは、高年齢者や障害者等の就職困難者をハローワーク等の紹介により、継続して雇用する労働者として雇い入れる事業主に対する助成制度。
- \* 高年齢者雇用安定助成金とは、高年齢者の活用促進のための雇用環境整備の措置等を実施する事業主に対して助成する制度（高齢・障害・求職者雇用支援機構）。
- \* 労働移動支援助成金とは、事業規模の縮小等により離職を余儀なくされる労働者や高年齢者等について、雇用確保のための再就職支援を職業紹介事業者に委託する事業主に対する助成制度。
- \* 高年齢者雇用アドバイザーによる相談・助言とは、高年齢者雇用アドバイザーが高年齢者の雇用に関する事項について、具体的かつ実際の相談、助言を行うこと（高齢・障害・求職者雇用支援機構）。
- \* 高年齢者雇用優良企業の表彰とは、高年齢者の雇用について先進的かつ積極的に取り組んでいる企業等に対し、厚生労働大臣等が表彰を行う事業のこと。

**【求める支援策】**

問25 今後、高年齢者をより一層活用するにあたって、国からどんな支援や助成措置が必要ですか。具体的にご記入ください。

(具体例 高年齢者活用企業の認証制度が創設されると、より一層活用が進む)

**VIII. 貴社について**

F1 貴社の業種は何ですか (〇は一つ)。

- |                      |                   |
|----------------------|-------------------|
| 1 建設業                | 9 運輸業             |
| 2 一般機械器具製造業          | 10 卸売・小売業         |
| 3 輸送用機械器具製造業         | 11 金融・保険業         |
| 4 精密機械器具製造業          | 12 不動産業           |
| 5 電気機械器具製造業          | 13 飲食業・宿泊業        |
| 6 2～5以外の製造業 (具体的に: ) | 14 医療・福祉          |
| 7 電気・ガス・熱供給・水道業      | 15 教育・学習支援業       |
| 8 情報通信業              | 16 サービス業 (具体的に: ) |
|                      | 17 その他 (具体的に: )   |

F2 貴社の設立年 . . . . . [西暦] 

--	--	--	--

 年

F3 貴社の本社所在地は . . . ( ) 都・道・府・県

F4 貴社の従業員および正社員数についてうかがいます。

(1) 2015年7月1日現在の従業員数

--	--	--	--	--	--	--	--

 名

(2) 現在の正社員の人数、平均年齢、勤続年数について、下記におおよその数字をご記入ください。

正社員の人数・・・約 ( ) 名 うち女性 ( ) 名

正社員の平均年齢 (歳)				正社員の平均勤続年数 (年)			
約			歳	約			年

(3) 貴社の年齢別の従業員の人数について、下記におおよその数字をご記入ください。

※該当者がいない場合は「0」とご記入ください。

	正社員		非正社員	
50歳～54歳	約	名	約	名
55歳～59歳	約	名	約	名
60歳～64歳	約	名	約	名
65歳～69歳	約	名	約	名
70歳以上	約	名	約	名

F5 貴社の賃金制度についてうかがいます。

(1) 貴社の正社員のなかで、最も多いのは以下のどの層ですか (○は一つ)。また、その層が正社員全体に占めるおおよその割合をご記入ください。

1 高卒・男子	2 高卒・女子	3 大卒・男子	4 大卒・女子	5 その他	
					(具体的に )

→ 付問 最も多い層が正社員全体に占める割合・・・約 ( ) %

(2) (1) でお答えいただいた貴社の正社員の①初任給の平均的な給与月額を実額で記入し、②各年齢時の平均的な給与月額について、初任給を100としたときのおおよその指数でお答えください。

①初任給の平均的な給与月額 (単位: 千円) ... 

--	--

 万 

--

 千円

②各年齢の平均的な給与月額 (初任給を100としたときのおおよその指数)

※「60代前半」以上の年齢層については、60歳以降もフルタイム勤務で継続雇用された場合についてお答えください。

	入社時	30歳	40歳	45歳	50歳	55歳	60歳直前	60代前半	60代後半	70代前半
給与月額の指数	100									

F 6 (1) 貴社では、どのような企業年金制度を設けていますか (あてはまるものすべてに○)。

- 1 厚生年金基金
- 2 規約型・確定給付企業年金
- 3 基金型・確定給付企業年金
- 4 適格退職年金
- 5 確定拠出企業年金
- 6 キャッシュ・バランスプラン
- 7 企業年金制度は設けていない ⇒ F 7へ

(2) 貴社の企業年金の、①支給開始年齢と、②支給期間についてお答えください。

①支給開始年齢・・・ \_\_\_\_\_ 歳から      ②支給期間・・・ \_\_\_\_\_ 年

F 7 貴社には、労働組合や常設的な労使協議機関がありますか (○は一つ)。

- 1 ある
- 2 ない

※高年齢者雇用や年金に関する国の政策に対してご意見などございましたら、ご自由にご記入ください。

～調査はこれで終わりです。ご回答いただき、誠にありがとうございました。～

**【サマリー送付について】**

調査結果のサマリーの送付をご希望の方は、「1 希望する」に○の上、下記連絡先等をご記入ください。

- 1 希望する
- 2 希望しない

**【ヒアリング調査のお願い】**

本アンケート調査終了後、60 歳以上の高年齢者活用に伴う人事管理や、高年齢者の採用活動についてより詳しく実態を把握するため、企業を訪問し、1時間～1時間 30分程度、お話をうかがいたいと思っています。ご協力いただけるようでしたら、「1 ヒアリング調査に協力してもよい」に○の上、下記連絡先等をご記入ください。

- 1 ヒアリング調査に協力してもよい
- 2 ヒアリング調査には応じない

→ (サマリー送付先・連絡先)

御住所 〒

御社名

部署名

記入者名

TEL :                      e-mail :

# 60代の雇用・生活調査

—60歳代の雇用・生活の実態と65歳を超えた雇用促進の条件把握のための調査—

この調査は、今後の高齢者雇用のあり方に関する政策課題を探るための基礎資料とするため、独立行政法人労働政策研究・研修機構（※）が実施するものです。是非ともご協力のほどよろしくお願いいたします。

〔調査主体〕独立行政法人 労働政策研究・研修機構

〔調査実施委託機関〕一般社団法人 中央調査社

※ 労働政策研究・研修機構は厚生労働省所管の独立行政法人で、労働政策に資する調査研究活動、労働についての情報収集・提供などの活動を行っております。

(ホームページの URL は <http://www.jil.go.jp> です。)

## 【記入にあたってのお願い】

- 1 この調査票にご記入頂いた内容はすべて統計的に処理され、回答が他に漏れることはありませんので、ありのままをご記入下さい。
- 2 ご回答方法は、該当する選択肢に○をつけて頂くものと、数字を記入して頂くものがあります。(○は1つだけつける設問と、いくつつけてもよい設問とがあります。指示にしたがって下さい。)
- 3 回答を進める順序は文中に書いてあります(必ずしも全問に答えて頂くわけではありません)。矢印(→)の指示にしたがって、お進み下さい。指示がない場合は、直後の問いにお答え下さい。
- 4 特にことわりがない場合、平成26(2014)年7月1日現在の状況についてお答え下さい。
- 5 ご記入頂きました調査票は、 月  日 (  曜日 ) ごろ に調査員が回収にまいりますので、それまでにご記入をお願いします。

## 【調査に関するお問い合わせ先】

調査についてのお問合せは、下記までご連絡下さいますようお願い致します。

〔調査実施委託機関〕一般社団法人 中央調査社

〒104-0061 東京都中央区銀座6-16-12

フリーダイヤル：0120-48-5351



一般社団法人 中央調査社は、一般財団法人 日本情報経済社会推進協会の「プライバシーマーク」の認定を受けております。ご協力いただきましたご意見等は、個人情報保護方針にしたがい、情報の管理を徹底いたします。

(第0207号)

整 理 番 号						点 検

I. あなたの現在の状況についてお尋ねします。

問1 あなたは平成26年6月、収入になる仕事をしましたか。なお「仕事」には家業の手伝いや内職も含みます。また、仕事をもっていて6月中に休職・休業していた方は、「1. した」を選んで下さい。(1つだけ○)

1 した	2 しなかった	4 ページの問5へ
------	---------	-----------

問2 6月中に行っていた仕事の内容はどれですか。仕事を2つ以上していた場合は、主な仕事1つの状況について記入して下さい。(1つだけ○)

1	会社、団体などに雇われて仕事をしていた
2	会社、団体などの役員（会社経営、役員等）であった
3	商店、工場、農家などの自家営業（自営業主の場合をいいます）や自由業であった
4	近所の人や会社などに頼まれて、任意で行う仕事をしていた
5	シルバー人材センターを通じて仕事をしていた
6	家庭で内職をしていた
7	家業（自家営業）の手伝いをしていた

問4にお進み下さい

問3 会社、団体などに雇われて仕事をしていました方にお尋ねします。6月中に行っていた主な仕事1つについて、以下の(1)から(3)の質問にお答えください。

(1)雇用契約で定められている雇用期間は、次のうちのどれですか。(1つだけ○)

1 特に定められていない	4 1ヶ月を超え1年未満
2 1年を超え5年以内	5 1ヶ月以内（日雇いを含む）
3 1年	

(2)主にどのような勤務形態でしたか。(1つだけ○)

1	普通勤務（フルタイム勤務）
2	普通勤務より1日当たりの労働時間が短い
3	普通勤務より1週間当たりの勤務日数が少ない
4	普通勤務より1日当たりの労働時間が短く、1週間当たりの勤務日数も少ない
5	勤務日と時間帯を弾力的に設定できるフレックス勤務
6	在宅勤務
7	その他（具体的に： _____）

(3)以下のうち、主にどのような形で働いていましたか。(1つだけ○)

1 正社員	3 嘱託	5 派遣労働者
2 パート・アルバイト	4 契約社員	6 その他（具体的に： _____）

問4 あなたが6月中に行っていた主な仕事1つについてお尋ねします。

(1)仕事の種類は何ですか。(1つだけ○)

1 管理的な仕事	5 サービスの仕事	9 輸送・機械運転の仕事
2 専門的・技術的な仕事	6 保安の仕事	10 建設・採掘の仕事
3 事務的な仕事	7 農林漁業の仕事	11 運搬・清掃・包装等の仕事
4 販売の仕事	8 生産工程の仕事	

(2) 勤務先企業・団体の業種は何ですか。(主な業種に1つだけ○)

1 農林漁業	10 不動産・物品賃貸業
2 鉱業	11 学術研究、専門・技術サービス業
3 建設業	12 宿泊・飲食サービス業
4 製造業 (具体的に： 製造)	13 生活関連サービス、娯楽業
5 電気・ガス・熱供給・水道業	14 教育・学習支援業
6 情報通信業	15 医療・福祉
7 運輸・郵便業	16 複合サービス事業
8 卸売・小売業	17 サービス業 (他に分類されないもの)
9 金融・保険業	18 公務
	19 その他 (具体的に： )

(3) 勤務先企業・団体の全体の従業員規模はどれですか。(1つだけ○)

1 4人以下	4 30～49人	7 300～499人	10 5,000人以上
2 5～9人	5 50～99人	8 500～999人	11 官公庁
3 10～29人	6 100～299人	9 1,000～4,999人	

(4) あなたはその仕事を何年くらい続けていますか。会社等に勤務している場合は勤続年数を(再雇用されて勤務している方は、定年前からの通算年数で)お答え下さい。

(なお6ヶ月以下は切り捨て、7ヶ月以上は切り上げて下さい。)(□に数字を記入)

約  年 (勤続等が6ヶ月以下のときは「0」を記入)

(5) 6月の就業時間や収入についてうかがいます。2つ以上仕事をしていた場合は、すべての仕事をあわせた就業時間や収入についてお答え下さい。

① 6月中に働いた日数はどのくらいでしたか。

(1時間でも働けば1日として記入して下さい。)(□に数字を記入)

約  日 (6月は働かなかったときは「0」を記入)

② 6月、1日当たりの仕事をした時間はどのくらいでしたか。

(30分以上は切り上げて下さい。)(□に数字を記入)

約  時間 (6月は働かなかったときは「0」を記入)

③ 6月の賃金等収入(税込み。賞与は除く)はいくらでしたか。(□に数字を記入)

(ここには年金、恩給、雇用保険等の給付金、財産収入、その他仕送り金等は含みません。また自営業の場合は売上高から諸経費を差し引き、月割りにならして記入して下さい。)

約  万  千円  
(6月は賃金等収入がなかったときは「0」を記入)

- ④今年1年間で、あなたがもらえる見込みの賞与（税込み）はいくらですか。  
（もらえる見込みがない場合、「1 賞与をもらえる見込みがない」に○をつけて下さい。）  
（1つだけ○、□に数字を記入）

1 賞与をもらえる見込みがない  
2 賞与をもらえる見込みがある → もらえる見込みの金額

約    万  千円

- (6) ①平成26年6月に働いていた理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

1 経済上の理由	4 頼まれたから
2 健康上の理由（健康に良いなど）	5 時間に余裕があるから
3 いきがい、社会参加のため	6 その他（具体的に： _____）

- ②1から6までの選択肢のうち、最も主要な理由は何ですか。（□に番号を記入）

番

(6) ①で1に○をつけた方にお尋ねします。（それ以外の方は6ページの問6にお進み下さい。）

- (7)具体的にはどのような理由ですか。（最も近いものに1つだけ○）

1 自分と家族の生活を維持するため  
2 生活水準を上げるため  
3 その他（具体的に： \_\_\_\_\_）

→ 6ページの問6にお進み下さい

平成26年6月は、収入になる仕事をしなかった方にお尋ねします。  
（仕事をもっていて、休職や休業されていた方は除きます。）

- 問5 あなたが6月中に仕事をしなかった理由は何ですか。（1つだけ○）

1 仕事をしたいと思いながら仕事につけなかった  
2 仕事をしたいと思わなかった → 次ページの付問5-6へ

- 付問5-1 仕事につけなかった主な理由は何ですか。（最もあてはまるものに1つだけ○）

1 適当な仕事が見つからなかった	5 家族の健康上の理由（介護等）
2 起業・開業の準備中であった	6 家庭の事情（5を除く。家事など）
3 請負や内職の仕事の注文がこなかった	7 その他
4 あなたの健康上の理由	（具体的に： _____）

→ 2～7に○をされた方は、6ページの問6にお進み下さい

1に○をされた方は、次ページの付問5-2にお進み下さい



**付問5-1で「1 適当な仕事が見つからなかった」に○をつけた方にお尋ねします。**

付問5-2 適当な仕事が見つからなかった主な理由は何ですか。(最もあてはまるものに1つだけ○)

- |                   |                    |
|-------------------|--------------------|
| 1 職種が希望と合わなかった    | 4 通勤時間が希望と合わなかった   |
| 2 労働時間が希望と合わなかった  | 5 条件にこだわらないが、仕事がない |
| 3 賃金、報酬が希望と合わなかった | 6 その他 (具体的に: )     |

付問5-3 どのような働き方を最も希望しますか。(1つだけ○)

- |                                             |
|---------------------------------------------|
| 1 普通勤務 (フルタイム勤務) で会社などに雇われたい                |
| 2 短時間勤務で会社などに雇われたい<br>(日数が少ない、1日の労働時間が短いなど) |
| 3 近所の人や会社などに頼まれたりして、任意に行う仕事をしたい             |
| 4 家庭で内職をしたい                                 |
| 5 自分で事業をしたい                                 |
| 6 その他 (具体的に: )                              |

付問5-4 現在、仕事を探すための活動をしていますか。(1つだけ○)

- |        |         |          |
|--------|---------|----------|
| 1 している | 2 していない | 次ページの問6へ |
|--------|---------|----------|

付問5-5 仕事が見つからない状態は、おおよそどのくらい続いていますか。(1つだけ○)

- |             |              |        |
|-------------|--------------|--------|
| 1 3ヶ月未満     | 4 1年～1年6ヶ月未満 | 7 3年以上 |
| 2 3ヶ月～6ヶ月未満 | 5 1年6ヶ月～2年未満 |        |
| 3 6ヶ月～1年未満  | 6 2年～3年未満    |        |

次ページの問6にお進み下さい

**問5で「2 仕事をしたいと思わなかった」に○をつけた方にお尋ねします。**

付問5-6 仕事をしたいと思わなかった主な理由は何ですか。(1つだけ○)

- |                          |                    |
|--------------------------|--------------------|
| 1 経済上の理由                 | 5 家族の健康上の理由 (介護など) |
| 2 今までの技能、経験が<br>通用しなくなった | 6 趣味、社会活動に専念したいから  |
| 3 適当な就職口が見つからなくなった       | 7 家事などに専念したいから     |
| 4 あなたの健康上の理由             | 8 その他<br>(具体的に: )  |

2～8に○をされた方は、次ページの問6にお進み下さい

付問5-7 具体的な理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- |                        |
|------------------------|
| 1 年金、退職金で生活できるようになったから |
| 2 財産収入があるから            |
| 3 預貯金があるから             |
| 4 配偶者や子供の収入があるから       |
| 5 その他 (具体的に: )         |

**すべての方にお尋ねします。****II. 55歳の時点の仕事の状況、定年経験の有無および定年後の仕事（継続雇用、再就職など）についてお尋ねします。**

問6 55歳当時、会社など（団体、官公庁、個人経営の商店や事業所を含む。）に雇われていましたか。（1つだけ○）

1 雇われていた      2 雇われていなかった → 15ページの問17へ

問7 問6で「1 雇われていた」と回答した方にお尋ねします。以下の(1)から(3)の質問にお答え下さい。

(1) 55歳当時勤めていた時は、以下のうちどのような形で働いていましたか。（1つだけ○）

1 正社員                      3 嘱託                      5 派遣労働者  
2 パート・アルバイト      4 契約社員                6 その他（具体的に：      ）

(2) 55歳当時勤めていた時の役職は何ですか。（1つだけ○）

1 一般従業員                3 課長相当                5 役員相当  
2 係長相当                    4 部長相当

(3) 55歳当時勤めていた会社などの、全体の従業員数は次のうちどれですか。（本社、支社、支店、工場などを含めた企業全体の従業員数でお答え下さい。）（1つだけ○）

1 4人以下                  4 30～49人                7 300～499人              10 5,000人以上  
2 5～9人                    5 50～99人                8 500～999人              11 官公庁  
3 10～29人                6 100～299人             9 1,000～4,999人

**現在、仕事をされている方にお尋ねします。（仕事をされていない方は問9にお進み下さい。）**

問8 現在も55歳当時の会社などに勤めていますか。（1つだけ○）

1 55歳当時と同じ会社などに勤めている      3 自営（自分で事業を営んでいる）  
2 55歳当時と別の会社に勤めている          4 その他（具体的に：      ）

1・3・4に○をされた方は、次ページの問9にお進み下さい

付問8-1 どのような経緯で現在の会社に勤務するようになりましたか。（1つだけ○）

1 在籍出向  
2 転籍  
3 会社の紹介・あっせん  
4 会社の紹介・あっせんなどによらず、自力で再就職  
5 その他（具体的に：      ）

**55歳当時、会社などに雇われて仕事をしていましたか。**

問9 55歳以降、現在までに定年を経験したことがありますか。(1つだけ○)

1 ある                       2 ない → 付問9-2へ

付問9-1 それは何歳の時でしたか。2回以上定年を経験した方は、最初に定年を経験した年齢をお答え下さい。(□に数字を記入)

歳の時 → 問10へ

付問9-2 55歳当時に雇われていた会社などを定年前に退職しましたか。  
(定年のない会社などから退職した場合は含みます。)(1つだけ○)

1 退職した                       2 現在も勤務している → 12ページの問13へ

付問9-3 退職したのは何歳の時ですか。(□に数字を記入)

歳の時

付問9-4 事業主都合(解雇、人員整理など)による退職でしたか。(1つだけ○)

1 はい                       2 いいえ

付問9-5 会社の早期退職優遇制度を活用しましたか。(1つだけ○)

1 活用した       2 制度はあったが活用しなかった       3 制度がなかった

付問9-6 55歳以降、再就職をしたことがありますか。(1つだけ○)

1 ある                       2 ない → 12ページの問13へ

問10 最初の定年に到達した直後、または55歳当時に雇われていた会社などを定年前に退職した直後に、仕事をしていましたか。(1つだけ○)

1 仕事をしていた → 次ページの付問10-1へ  
 2 失業して仕事を探していた  
 3 仕事や求職活動はしていなかった

→ 9ページの問11にお進み下さい

付問10-1 定年に到達した直後、または55歳当時に雇われていた会社などを定年前に退職した直後の仕事の種類（職種）は何ですか。（1つだけ○）

- |              |                 |
|--------------|-----------------|
| 1 管理的な仕事     | 7 農林漁業の仕事       |
| 2 専門的・技術的な仕事 | 8 生産工程の仕事       |
| 3 事務的な仕事     | 9 輸送・機械運転の仕事    |
| 4 販売の仕事      | 10 建設・採掘の仕事     |
| 5 サービスの仕事    | 11 運搬・清掃・包装等の仕事 |
| 6 保安の仕事      |                 |

付問10-2 付問10-1でお答えいただいた職種は定年前（退職前）の職種と同じですか。（1つだけ○）

- |       |         |
|-------|---------|
| 1 はい  | 付問10-3へ |
| 2 いいえ |         |

補問 定年前（退職前）の職種は何ですか。上の付問 10-1 の職種番号でお答え下さい。（□に1～11の数字を記入）

□	-	□	番
---	---	---	---

付問10-3 どのような形で仕事をしていましたか。（最も近いものに1つだけ○）

- |                               |            |
|-------------------------------|------------|
| 1 勤務先の会社などで再雇用・勤務延長の形で働いていた   |            |
| 2 勤務先の会社から別の会社などをあっせんされて再就職した |            |
| 3 勤務先からのあっせんによらず別の会社などに再就職した  | 10ページの問12へ |
| 4 自ら事業を起こした                   |            |
| 5 内職・家業の手伝い、任意に行う仕事などをしていた    |            |
| 6 その他（具体的に： _____）            |            |
- 12ページの問13にお進み下さい

補問① あなたはどのような制度によって継続して雇用されましたか。（1つだけ○）

- |          |         |         |
|----------|---------|---------|
| 1 勤務延長制度 | 2 再雇用制度 | 3 わからない |
|----------|---------|---------|

補問② あなたに適用された制度の対象者はどのように定めてありましたか。（1つだけ○）

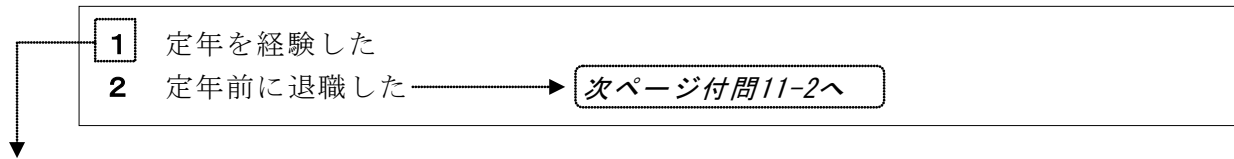
- |                                |
|--------------------------------|
| 1 希望者全員                        |
| 2 解雇・退職事由に該当しない希望者全員           |
| 3 上記2以外の会社が定めた対象者についての基準に適合する者 |
| 4 わからない                        |

補問③ 現在も同じ勤務先にお勤めですか。（1つだけ○）

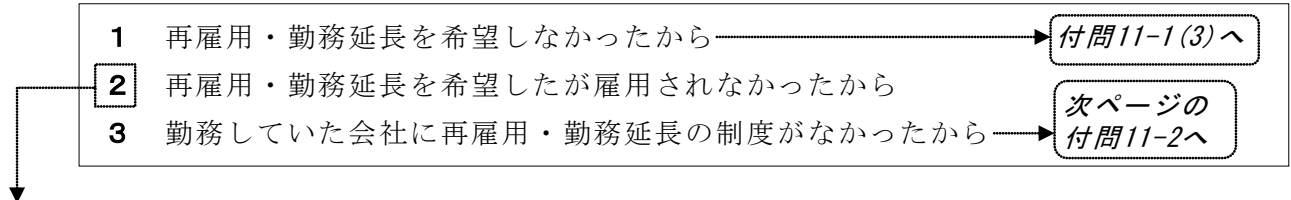
- |      |       |
|------|-------|
| 1 はい | 2 いいえ |
|------|-------|
- 12ページの問13にお進み下さい

7ページの間10で「2 失業して仕事を探していた」または「3 仕事や求職活動はしていなかった」に○をつけた方にお尋ねします。

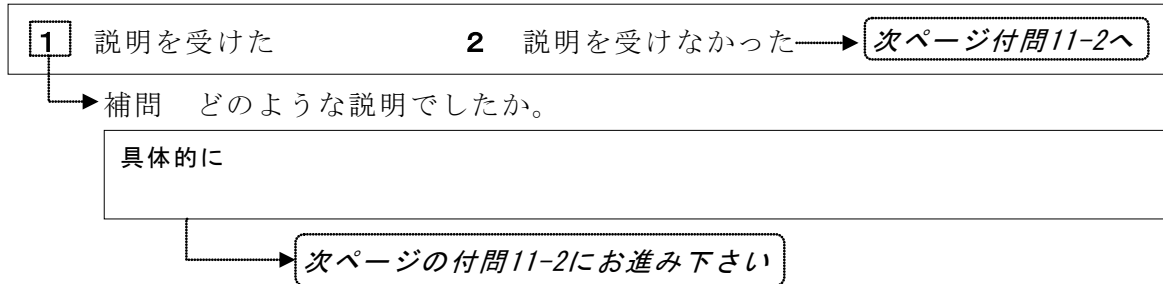
問11 定年の経験はありますか。(1つだけ○)



付問11-1(1) 最初の定年に到達した直後、継続して雇用されなかったのはなぜですか。(1つだけ○)



付問11-1(2) 再雇用・勤務延長を希望したのに、雇用されなかった理由について会社から説明を受けましたか。(1つだけ○)



付問11-1(3) 再雇用・勤務延長を希望しなかったのはなぜですか。(○はいくつでも)

- 1 再雇用・勤務延長後に自分のやりたい仕事ができなかったから
- 2 余剰扱いされたから
- 3 職場の雰囲気や人間関係がよくなかったから
- 4 再雇用・勤務延長後の賃金が安すぎるから
- 5 再雇用・勤務延長後の身分・役職に納得いかなかったから
- 6 再雇用・勤務延長後の就業時間に納得がいかなかったから
- 7 後進のポストや仕事を奪うことになるから
- 8 会社の業績が悪く、会社に迷惑をかけてしまうと思ったから
- 9 健康上の理由から
- 10 家族などの介護のため
- 11 家業を継ぐ予定だったから
- 12 他の会社に転職したかったから
- 13 独立開業したかったから
- 14 趣味やボランティア活動に打ち込みたかったから
- 15 年金など仕事以外の収入で十分に生活できたから
- 16 継続雇用制度の基準に合致しないと思い、希望(申し出)をしなかったから
- 17 その他(具体的に: )

付問11-2 最初の定年の後、または55歳当時に雇われていた会社などを定年前に退職した後、しばらくしてから再び働くようになりましたか。  
(なお現在、仕事をしていなくても、その定年の時、一度でも再び働き始めた場合は「1 再び働くようになった」を選んで下さい。)(1つだけ○)

1 再び働くようになった	→	次は2通りに分かれてお進み下さい
		●問10で「2 失業して仕事を探していた」に○をつけた方は、付問11-3へ。
		●問10で「3 仕事や求職活動はしていなかった」に○をつけた方は、12ページの間13へ
2 そのまま引退した	→	19ページの間23へ

付問11-3 問10で、「2 失業して仕事を探していた」に○をつけた方のみにお尋ねします。どれくらいの期間、失業して仕事を探していましたか。(□に数字を記入)

失業して仕事を探していた期間  年  ヶ月

付問11-4 失業していた期間に雇用保険を受給していましたか。(1つだけ○)

1 受給していた	2 受給していなかった
----------	-------------

→ 問12にお進み下さい

**55歳以降または定年前後に再就職された方にお尋ねします。**

問 12 再就職先はすぐに見つかりましたか。(1つだけ○)

1 すぐに見つかった	→	次ページの付問12-6へ
2 しばらく職探しをした		

付問12-1 どれくらいの期間、探していましたか。(□に数字を記入)

仕事を探していた期間  年  ヶ月

付問12-2 申込書・履歴書を送付したのは何社くらいですか。(□に数字を記入)

社くらい

付問12-3 面接できた会社は何社くらいですか。(□に数字を記入)

社くらい

付問12-4 すぐに決まらなかった理由は何ですか。(〇はいくつでも)

- 1 すぐに職探しを開始せず、何となくゆっくりしていた期間があったため
- 2 競争が厳しく、なかなか面接まで行き着かなかったため
- 3 面接は受けられたが、競争が厳しく不採用が続いたため
- 4 えり好みはしていないが、とにかく求人がなかった(量的に少なかった)
- 5 自分から辞退した(または求人を見て止めた)会社が多かったから

付問12-5 自分から辞退した理由は何ですか。(〇はいくつでも)

- 1 賃金が折り合わなかった
- 2 要求される知識・技能が高すぎたり責任が重すぎたりして、仕事の内容が合わなかった
- 3 肉体的にきつい仕事だった
- 4 仕事の内容に興味を持てなかったり、単純な仕事だったりした
- 5 パート勤務の会社を探したが、いくら探してもなかった
- 6 とても忙しそうなお仕事だった
- 7 通勤が遠かった(勤務場所が合わなかった)
- 8 勤務開始の時期が折り合わなかった
- 9 その他(具体的に: )

付問12-6 再就職(転職)ができて満足していますか。(最も近いもの1つだけに〇)

- 1 非常に満足している
  - 2 前の職場よりは満足している
  - 3 余り満足していない
  - 4 不満である
- 次ページの間13へ

付問12-7 「不満である」または「余り満足していない」のはなぜですか。(〇はいくつでも)

- 1 労働条件が前とほとんど変わっていない
- 2 労働条件がかえって悪くなった
- 3 仕事の内容を変えたかったのに、また似たような仕事になってしまった
- 4 後になって、実はきつい仕事(とても忙しい仕事)ということがわかった
- 5 後になって、今度の職場はリストラが多くて不安定そうなのことがわかった
- 6 人間関係が悪そうだ
- 7 その他(具体的に: )

55歳の時に雇われて仕事をしていました方（問6で1に○をつけた方）で、定年年齢後または60歳以降も仕事をした方にお尋ねします。（それ以外の方は15ページの問17にお進み下さい。）

Ⅲ. 高齢期の仕事や賃金の変化、定年に向けた会社の対応等についてお尋ねします。

問13 定年年齢または60歳に到達した際、仕事の内容が変わりましたか。（最も近いものに1つだけ○）

- 1 全く別の業務分野の仕事に変わった  
（従前の仕事は何でしたか。具体的に： \_\_\_\_\_）
- 2 同じ分野の業務ではあるが、責任の重さが変わった（軽くなった・重くなった）
- 3 業務内容の一部が変わった（具体的に： \_\_\_\_\_）
- 4 変わっていない
- 5 その他（具体的に： \_\_\_\_\_）

付問13-1 「全く別の業務分野の仕事に変わった」方にお尋ねします。それはどういう事情からですか。（最も近いものに1つだけ○）

- 1 会社内で別の部署に異動になったから
- 2 部署は同じだが、会社の都合で仕事が変わったから
- 3 定年前に関連会社に出向になった（または、他社に職場をあっせんしてもらった）から
- 4 前の会社を辞めて転職したから
- 5 その他（具体的に： \_\_\_\_\_）

問14 定年に到達した直後（または55歳当時に雇われていた会社などを定年前に退職した直後）の賃金額は、定年前（退職前）と比べてどのように変化しましたか。（最も近いものに1つだけ○）

- 1 賃金額は減少した → おおよそ  %減少した(口に数字を記入)
- 2 賃金額は余り変化していない
- 3 賃金額は増加した → おおよそ  %増加した(口に数字を記入)

次ページの問15にお進み下さい

付問14-1 賃金が下がることについて、会社からはどのような説明がありましたか。

(○はいくつでも)

- 1 在職高齢年金や高年齢雇用継続給付が出るので、実質的な収入は変わらない
- 2 仕事の責任の重さがかなり変わるので、前と同じ賃金は支払えない
- 3 役職からはずれたのだから、前と同じ賃金は支払えない
- 4 会社は雇用確保のために再雇用するのだから、賃金低下は理解してほしい
- 5 その他（具体的に： \_\_\_\_\_）
- 6 特に説明はなかった

次ページの付問14-2にお進み下さい



付問14-2 賃金が下がったことについて、あなたはどう思いましたか。(〇はいくつでも)

- 1 仕事がほとんど変わっていないのに、賃金が下がるのはおかしい
- 2 会社への貢献度が下がったわけではないのに、賃金が下がるのはおかしい
- 3 仕事の責任の重さがわずかに変わった程度なのに、下がりすぎだ
- 4 在職老齢年金や高年齢雇用継続給付が出るからといって、賃金を下げるのはおかしい
- 5 仕事によって会社への貢献度は異なるので、賃金額が変わるのは仕方がない
- 6 仕事は全く別の内容に変わったのだから、賃金の低下は仕方がない
- 7 雇用が確保されるのだから、賃金の低下はやむを得ない
- 8 その他(具体的に: )

問15 50歳前後からの高齢期に適用される賃金制度の見直しについてお尋ねします。  
 賃金が年功的になっている多くの企業では、労働者の賃金は定年後、大幅に削減されています。こうした実態を改善するため、一定年齢に達したら、実際に従事している職務内容に基づいて賃金額が決まる制度が望ましいという考え方があります(職務給または仕事給などと呼ばれています)。あなたはそうした賃金制度をどう思いますか。

(最も近いものに1つだけ〇)

- 1 定年ぎりぎりまで高い賃金が確保できるなら、60歳以降賃金が下がっても構わない。現在の賃金制度を見直す必要はない
- 2 職務内容は、実際には50歳代に入るとかなり変わってきているので、50歳くらいから賃金が下がる可能性をもたらす制度の導入は困る
- 3 賃金が少し下がるのは仕方がないとしても、それと併せて仕事の内容や肩書きもかなり下げられるのであれば、やる気を損ねるので反対だ
- 4 仕事の内容や肩書きがどうなるかが気にはなるが、賃金が仕事の内容を反映したのものとなるなら、検討する意義はあるのではないか
- 5 その制度の是非はわからないが、賃金制度の見直しが進まないことが65歳定年制が進まない根本原因なのだとしたら、賃金制度の検討には今すぐ着手すべきだ
- 6 よくわからない
- 7 その他(具体的に: )

問16 定年前に働いていた会社では、高齢期、定年に向けて将来の仕事等について、会社側と相談する機会がありましたか。(1つだけ〇)

- 1 あった
- 2 なかった → 15ページの問17へ
- 3 なかったので、自分から相談に行った

付問16-1 相談したのはいつごろですか。(1つだけ〇)

- 1 退職前の一定時期
- 2 毎年(人事面接は毎年あるので) → 次ページ付問16-3へ

付問16-2 それはいつですか。(なお、相談の機会が複数回あった場合には、該当する項目すべてに〇を付けて下さい。)

- 1 定年到達の5年くらい前(またはそれより前)
- 2 2~3年前
- 3 1年前
- 4 半年前
- 5 1~3ヶ月くらい前
- 6 定年退職日の直前

次ページの付問16-3へ

付問16-3 あなたはその相談の結果に満足していますか。(1つだけ○)

<b>1</b>	非常に満足している
<b>2</b>	一定程度、満足している
<b>3</b>	不満である

付問16-5へ

付問16-4 (満足しているとお答えの方に) それはなぜですか。(○はいくつでも)

<b>1</b>	定年後の仕事内容や労働条件について、一定程度、希望が受け入れられたから
<b>2</b>	希望は受け入れられなかったが、相談することで会社側がどのように考えているのかがわかり、働きやすくなったから
<b>3</b>	希望は受け入れられなかったが、自分の話を聞いてもらったのはよかったから
<b>4</b>	今回は希望を受け入れられなかったが、今後、相談しやすい環境になったのはよかったから
<b>5</b>	その他 (具体的に: _____ )

次ページの問17にお進み下さい

付問16-5 (不満であるとお答えの方に) それはなぜですか。(○はいくつでも)

<b>1</b>	希望がほとんど受け入れられなかったから
<b>2</b>	定年後どのように職場に貢献していけばいいのかわからなかったから
<b>3</b>	会社が私の貢献をほとんど認めていない(理解していない)ことがわかったから
<b>4</b>	相談がきっかけとなって、会社にいづらくなったから
<b>5</b>	相談と言っても形式的で、内容がおざなりだから
<b>6</b>	相談時期が遅すぎるから
<b>7</b>	その他 (具体的に: _____ )

5には○をしなかった方は次ページの問17にお進み下さい

付問16-6 (相談が形式的と回答した方に) 本当はどのような相談を期待したのですか (○はいくつでも)

<b>1</b>	まだ会社の役に立てると思うので、信頼して重要な仕事を任せて欲しかった
<b>2</b>	定年後、どう貢献して欲しいのか、会社の意見を聞かせて欲しかった
<b>3</b>	職業技能の上で足りない点や身につけるべき専門知識について、アドバイスを欲しかった
<b>4</b>	家庭の事情等、もっと個別事情を考慮してくれるものと期待していた
<b>5</b>	その他 (具体的に: _____ )

次ページの問17にお進み下さい

すべての方にお尋ねします。

V. 高齢期に入って、あなた自身が定年時に向けて取り組まれた諸準備（転職や能力向上関連）についてお尋ねします。

問17 50歳前後になってから、定年時を意識してご自分の職業能力のことを考えたり、転職や職業能力向上のために何かに取り組んだりしたことはありますか。（〇はいくつでも）

- 1 自営業を始めるための準備をした
- 2 資格取得について調べたことがある
- 3 資格を取得するために自分で勉強したことがある
- 4 資格を取得するために学校に通ったり、通信講座を受講したりしたことがある
- 5 職業能力の向上に取り組んだことはないが、転職の準備はしたことがある
- 6 過去の職務経歴を振り返って、自分なりに自分の職務能力分析を行ったことがある
- 7 その他（具体的に： \_\_\_\_\_）
- 8 特に取り組んだことはない → 付問17-2へ

5と8には〇をしなかった方で、現在働いている方は次ページの間18へ、  
現在働いていない方は19ページの間23へお進み下さい

付問17-1 （転職の準備をしたことがある方とお答えの方に）どのような準備をしましたか。（〇はいくつでも）

- 1 仕事があったら教えてくれるよう、知り合いに頼んだ
- 2 ハローワークや専門の転職あっせん機関に相談したことがある
- 3 履歴書や自己PR文書を作成したことがある
- 4 実際に求人に応募し、または企業で面接を受けたことがある
- 5 その他（具体的に： \_\_\_\_\_）

現在働いている方は次ページの間18へ、  
現在働いていない方は19ページの間23へお進み下さい

付問17-2 （特に取り組んだことがないとお答えの方に）それはなぜですか。（〇はいくつでも）

- 1 定年後は、今の会社に継続雇用か他社へ就職あっせんしてもらおうつもりのため
- 2 定年後の働き先は知り合いに頼んであるため
- 3 高齢期の就職（転職）は、えり好みさえしなければ人物本位で採用されると思うので、特別な準備はいらないと思うから
- 4 特別な準備は必要だと思っていたが、日々の業務が忙しくてできなかった
- 5 特別な準備は必要だと思っていたが、何をどうやればよいか、わからなかった
- 6 そもそも職業に就くつもりがなかったため
- 7 その他（具体的に： \_\_\_\_\_）

現在働いている方は次ページの間18へ、  
現在働いていない方は19ページの間23へお進み下さい

現在、働いているすべての方にお尋ねします。

(現在、働いていない方は19ページの間23にお進み下さい。)

VI. 65歳以降の雇用・就業について、あなたの考え方をお尋ねします。

問18 あなたは6月に行った仕事について、どの程度満足していますか。

(最もあてはまるものに1つだけ○)

- |             |            |
|-------------|------------|
| 1 大いに満足している | 4 やや不満である  |
| 2 やや満足している  | 5 大いに不満である |
| 3 普通        |            |

7月1日現在で60～64歳の方は問19へ、65歳以上の方は次ページの間20へ

問19 7月1日現在で60～64歳で、働いている方にお尋ねします。65歳以降、仕事はどうするつもりですか。(最も近いものに1つだけ○)

- |                                                               |              |
|---------------------------------------------------------------|--------------|
| 1 まだ決めていない。わからない                                              |              |
| 2 仕事はしたくない。仕事からは引退するつもり                                       | 次ページの付問19-2へ |
| 3 自分の健康、家庭の事情等で働けないと思う                                        |              |
| 4 健康ではあるが、私の職種は体力等を要する仕事(体力を要する、視力が悪いとできない、など)なので、肉体的に働けないと思う |              |
| 5 採用してくれる職場があるなら、ぜひ働きたい                                       | 次ページの付問19-3へ |
| 6 すでに働くことが(ほぼ)決まっている(誘い・雇用契約がある)                              |              |
| 7 その他(具体的に: )                                                 |              |

18ページの間21にお進み下さい

付問19-1 問19で「1 まだ決めていない。わからない」に○をつけた方にお尋ねします。それはなぜですか。(最も近いものに1つだけ○)

- |                                                                     |
|---------------------------------------------------------------------|
| 1 年金額がわからないから。生活できるめどが立てば働かないと思う                                    |
| 2 仕事の中身(賃金額、仕事の内容、勤務先、勤務場所など)がまだわからないから。会社から示される内容が希望とかなり違えば働かないと思う |
| 3 今の職場は忙しすぎる。もう少し忙しくない職場が他にあるなら働きたいが、今はまだわからないので、決めかねている            |
| 4 最終的にはたぶん働くとは思いますが、今のところは現在の勤務(継続雇用)が終わったら少しゆっくりするつもりなので、まだ決めていない  |
| 5 仕事以外のことを始めるかもしれないので、まだ決めていない                                      |
| 6 その他(具体的に: )                                                       |

18ページの間21にお進み下さい

付問19-2 問19で「2 仕事はしたくない。仕事からは引退するつもり」に○をつけた方にお尋ねします。それはなぜですか。(○はいくつでも)

- 1 生活のめどが立ったから(年金が支給される)
- 2 もう十分に働いたので、引退して好きなことをして楽しみたい
- 3 本当は働きたいが、健康上の問題、家庭の事情があって働けないため
- 4 健康ではあるが、私の職種は体力等を要する仕事(体力を要する、視力が悪いとできない、など)なので、肉体的に働けないと思うから
- 5 仕事を探したが、とにかく求人がなかったため(量的に少ない)
- 6 仕事を探したが、経験を活かせる適職が見つからなかったため
- 7 仕事を探したが、どれも賃金が低かったため
- 8 仕事を探したが、フルタイムの仕事しかなかったため(パートで働きたい)
- 9 仕事を探したが、どれも忙しそうな仕事ばかりだったため
- 10 家の近くでは仕事が見つからなかったため(通勤が難しい)

次ページの問21にお進み下さい

付問19-3 問19で「5 採用してくれる職場があるなら、ぜひ働きたい」に○をつけた方にお尋ねします。今の職場で働きたいですか。(最も近いものに1つだけ○)

- 1 今の会社は就業規則上、65歳を超えても働ける(または高齢者の雇用年限がない)ので、ここで働き続けたいと思っている
- 2 今の会社は、継続雇用の年限が65歳までと定められているので、別の会社を探さなければならない
- 3 会社の規定にかかわらず、別の会社で働きたい
- 4 わからない

1・2・4に○をされた方は、次ページの問21にお進み下さい

付問19-4 今の会社での勤務を希望しない理由は何ですか。(○はいくつでも)

- 1 今の仕事は難しいから(高度な知識・技能、経験を要求される)
- 2 今の仕事は肉体的にきついから(体力や視力の衰えがあると勤めきれない)
- 3 今の会社は忙しすぎるから
- 4 今の会社は賃金が低いから
- 5 今の会社は業績が悪く、希望しても雇われないだろうから
- 6 今の職場にはフルタイム勤務しかないから(パートで働きたい)
- 7 今の職場は人間関係や職場環境がよくないから
- 8 その他(具体的に: )

次ページの問21にお進み下さい

問20 7月1日現在65歳以上で、働いている方にお尋ねします。  
70歳以降も働くつもりがありますか。(最も近いものに1つだけ○)

- 1 まだ決めていない。わからない
- 2 もう十分に働いたので、引退して好きなことを楽しみたい
- 3 年金だけでは生活ができないので、なお働かねばならない
- 4 生きがいや健康のために、元気な限り働きたい
- 5 すでに働くことが(ほぼ)決まっている(誘い・雇用契約がある)
- 6 その他(具体的に: )

次ページの問21へ

**現在、働いているすべての方にお尋ねします。**

問21 ご自分の経験を振り返って、65歳を過ぎても勤める（採用される）ためには、どのようなことが必要（役に立つ）と思いますか。 (○はいくつでも)

- 1 仕事の専門知識・技能があること
- 2 専門性よりは色々な仕事ができる能力や幅広い経験
- 3 協調性（年下の管理監督者の下でも働けること）、仕事に取り組む真摯な態度など
- 4 いつまでも現役で活躍する（若い者には負けない）という意欲
- 5 健康・体力（65歳までの勤務以上に重要である）
- 6 幅広い人脈、知り合いが多いこと（就職のあっせんで助けてもらえるから）
- 7 過去の転職経験
- 8 定年前から、定年後を意識した準備（転職の準備を含む）を用意周到に進めること
- 9 高齢者にはなかなか仕事はないので、転職などはせず、慣れた職場で働くこと

問22 体力等の衰えとこれに対する企業の配慮についてお尋ねします。

(1) ご自身の体力等（体力、視力や記憶力など）の低下で、仕事上、不都合を感じていますか。 (現状に最も近いものに1つだけに○)

- 1 そうした体力等の問題はまだ余り感じたことがない
- 2 体力等の衰えはあるが、仕事をする上では特に不都合はない
- 3 やや不都合を感じている
- 4 体力や記憶力などが原因で、仕事上、少し失敗したことがある
- 5 かなり不都合があり、仕事を辞めることも考え始めている

(2) あなたの体力等の問題に関して、会社はどう配慮していますか。 (○はいくつでも)

- 1 会社とは、仕事の内容について個人的に相談・面接する場が定期的であり、その際、作業上の問題なども相談できるので、配慮してもらっている
- 2 仕事の内容に関する個人的相談の場は特にはないが、契約の年度更新などの際に申し入れれば、職場で用いる文字の大きさや補助器具の購入、作業の速度などについては、見直して（または検討して）くれている
- 3 仕事の内容に関する個人的相談の場はあるが、体力や視力などの問題は個人的な問題として、特に配慮はしてもらえない
- 4 会社側は何も配慮（対応）してくれないので、必要な作業機器や什器などは自分で揃えている
- 5 その他（具体的に： )

すべての方にお尋ねします。

VII. これまでの自営業経験についてお尋ねします。

問23 あなたは、これまで自営業をしたことがありますか。(1つだけ○)

1	現在、自営業をしている	
2	自営業をしたことはあるが、廃業して現在は企業に雇用されている	
3	自営業をしたことはあるが、廃業して現在は働いていない	
4	自営業をしたことはない	次ページの問26へ

問25にお進み下さい

付問23 あなたが自営業で働き始めたのはいつですか。(1つだけ○、口に数字を記入)

1	昔から	<input type="text"/>	歳の時から	次ページの問26へ
2	最近始めた	<input type="text"/>	歳の時から	

問24 最近、自営業を始められた方にお尋ねします。事業を始めたきっかけは何ですか。

(最も近いものに1つだけ○)

1	以前から、定年前後になったら自営業をする計画だった
2	定年前に再就職先を探したが、見つからなかったため
3	以前から進めてきた趣味の活動が事業化につながったため →何の事業をしていますか。(具体的に： )
4	自治体や商工会議所(商工会)などが行う自営業・帰農などのキャンペーンで 情報を得たことがきっかけで
5	知り合いに勧められた(相談を受けた)ことがきっかけで

次ページの問26にお進み下さい

問25 廃業したことがある方にお尋ねします。

(1)それは何歳のときでしたか。(口に数字を記入)

<input type="text"/>	歳
----------------------	---

(2)廃業した時の状況は、どのようなものでしたか。(当時の状況に最も近いものに1つだけ○)

1	創業当初からうまく収入が入らなかった。事業が成り立たなかった
2	徐々に赤字が累積し、自己資金を使い切ってしまったので、廃業を決断した
3	経営状態は自分ではそれほど悪いと思わなかったが、金融機関からの融資が 受けられなくなり、廃業を決断した
4	不景気の影響をまともに受け、突然の廃業となった
5	自分が高齢となり、後継者がいなかったため廃業を決断した
6	その他(具体的に： )

次ページの問26へ

**すべての方にお尋ねします。**

**VIII. 現在の生活と将来のことについてお尋ねします。**

問26 普段、どのような活動をして過ごしていますか。(普段、仕事をしている方は、休みの日の実態についてお答え下さい。)(○はいくつでも)

- 1 趣味の活動(習い事、社交ダンスや軽スポーツ、園芸など)を楽しんでいる
- 2 買い物に出かけたり、近所の人たちとお茶を飲んだり、親戚訪問などをしたりして、身近な外出を楽しんでいる
- 3 時々、社会貢献活動(ボランティアや自治会活動、市民活動など)に携わっている
- 4 主に家でのんびりしている(外出することは少ない)
- 5 病院通いをしている
- 6 家族の看護・介護をしている

問27 生計状態はどうか。(最も近いものに1つだけ○)

- 1 余裕がある
- 2 余裕はないが、普通に生活している限り特に問題はない
- 3 収入が少なく、生活は楽ではない
- 4 借金の返済や、親・配偶者等の介護の経費など固定的な支出があるため、生活は楽ではない
- 5 貯蓄を取り崩して生活する状況で、大変に苦しい
- 6 生活保護を受けている
- 7 その他(具体的に: \_\_\_\_\_)

問28 年金の受給状況についてお尋ねします。

(1)年金の裁定請求をし、「年金証書・裁定通知書」を受け取ったことがありますか。(1つだけ○)

- 1 ある
- 2 ない

(2)あなたは現在、公的年金(国民年金、厚生年金、共済年金)を受給していますか。受給している場合は、受給し始めた年齢もご記入下さい。(1つだけ○、□に数字を記入)

- 1 受給している →  歳から
- 2 受給していない

(3)あなたは公的年金の「繰り上げ」あるいは「繰り下げ」を選択していますか。(本来の公的年金受給開始年齢よりも早く受給することを「繰り上げ」、遅く受給することを「繰り下げ」と呼びます。)(1つだけ○)

- 1 「繰り上げ」を選択している
  - 2 「繰り下げ」を選択している
  - 3 どちらも選択していない
- } → **次ページの問28(4)へ**

補問 繰り上げは「全部繰り上げ」ですか。(1つだけ○)

- 1 全部繰り上げ
- 2 一部繰り上げ
- 3 わからない

→ **次ページの問28(4)へ**



問28(4) 老齢厚生年金の受給資格はありますか。(全額支給停止されている場合は「1 ある」を選んで下さい。)(1つだけ○)

**1** ある **2** ない → **問29へ**

補問 (4)で「1 ある」に○をつけた方にお尋ねします。  
現在の在職老齢年金の減額率はどれくらいですか。(1つだけ○)

- |                   |                   |
|-------------------|-------------------|
| <b>1</b> 減額されていない | <b>6</b> 5割以上6割未満 |
| <b>2</b> 2割未満     | <b>7</b> 6割以上7割未満 |
| <b>3</b> 2割以上3割未満 | <b>8</b> 7割以上8割未満 |
| <b>4</b> 3割以上4割未満 | <b>9</b> 8割以上     |
| <b>5</b> 4割以上5割未満 |                   |

問29 将来の不安はありますか。(○はいくつでも)

- |                                         |
|-----------------------------------------|
| <b>1</b> 特にない                           |
| <b>2</b> (自分または家族が) 病気がちなので不安だ          |
| <b>3</b> できるだけ長く働きたいが、いつまで雇ってもらえるか不安だ   |
| <b>4</b> 生活費の不安がある(借金は余りないが、生活が楽ではない)   |
| <b>5</b> 多額の借金を抱えており、この先、どう返済していくか悩んでいる |
| <b>6</b> その他(具体的に: _____)               |

IX. 最後に、あなたご自身とご家族についてお尋ねします。

F 1 (平成26年7月1日現在の) あなたの年齢をお答え下さい。(□に数字を記入)

昭和   年   月 生まれ   歳

F 2 性別をお答え下さい。(1つだけ○)

**1** 男性 **2** 女性

F 3 最終学歴(中退を除く)をお答え下さい。(1つだけ○)

<b>1</b> 中学卒	<b>3</b> 短大・高専・専門学校卒
<b>2</b> 高校卒	<b>4</b> 大学・大学院卒

F 4 あなたの普段の健康状態はいかがですか。(1つだけ○)

**1** 大変良い **2** 良い **3** あまり良くない **4** 良くない

F 5 婚姻状況についてお答え下さい。(1つだけ○)

<b>1</b> 既婚 (配偶者あり)	<b>2</b> 未婚	<b>3</b> 離婚・死別
---------------------	-------------	----------------

補問 配偶者の方の健康状態はいかがですか。(1つだけ○)

F 6にお進み下さい

<b>1</b> 大変良い	<b>2</b> 良い	<b>3</b> あまり良くない	<b>4</b> 良くない
---------------	-------------	------------------	---------------

F 6 現在、あなたと生計を共にしている同居の家族はいますか。(1つだけ○、□に数字を記入)

<b>1</b> いる → <span style="border: 1px solid black; display: inline-block; width: 80px; height: 30px; vertical-align: middle; text-align: center;"> </span> 人	<b>2</b> いない → F 7にお進み下さい
---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------

補問 具体的に挙げて下さい。(あてはまるものすべてに○)

<b>1</b> 配偶者	<b>4</b> 子供の配偶者	<b>7</b> 1～6以外
<b>2</b> 子供 (既婚)	<b>5</b> 孫	(具体的に: )
<b>3</b> 子供 (未婚)	<b>6</b> 親 (一方、または双方)	

F 7 介護が必要な家族はいますか。(1つだけ○)

<b>1</b> いる	<b>2</b> いない → F 8にお進み下さい
-------------	---------------------------

補問 介護を主にされている方はどなたですか。(1つだけ○)

<b>1</b> あなた自身	<b>2</b> あなたの配偶者	<b>3</b> その他 (具体的に: )
----------------	------------------	-----------------------

F 8 あなたの世帯の収入・生計費についてうかがいます。

(1) あなたの世帯の生計をまかなう収入源は次のうちどれですか。(あてはまるものすべてに○)

<b>1</b> あなたの賃金等収入	<b>8</b> 親族の年金収入
<b>2</b> あなたの公的年金収入	<b>9</b> 自営業などの事業収入
<b>3</b> あなたのその他の年金収入 (企業年金を含む)	<b>10</b> 財産収入 (家賃・利子・配当金など)
<b>4</b> あなたの高年齢者雇用継続給付金	<b>11</b> 退職金の取り崩し
<b>5</b> 配偶者の賃金等収入	<b>12</b> 貯蓄の取り崩し
<b>6</b> 子供の賃金等収入	<b>13</b> 雇用保険
<b>7</b> 配偶者の年金収入 (公的年金、企業 年金を含む)	<b>14</b> 仕送り
	<b>15</b> 生活保護
	<b>16</b> その他 (具体的に: )

(2) 主たる収入源はどれですか。上記(1)で選んだ番号のうち1つを記入して下さい。

(□に1～16の番号を記入)

主たる収入源 | 番

(3) 最初の定年経験時に、退職金（一時金）は支給されましたか。

支給された場合、金額はどのくらいでしたか。（1つだけ○、□に数字を記入）

1	支給された →	<input type="text"/>	万円くらい
2	支給されなかった		
3	定年は経験していない		

(4) 6月のあなたの世帯の収入（税込み）はどのくらいでしたか。（□に数字を記入）

（賞与は除きます。相続、贈与、退職一時金など経常的でないものも含めません。

ただし、年金など経常的な公的給付は含めて下さい。）

6月ひと月の世帯収入 約  万  千円

(5) あなたが受給している年金について、該当する年金の月額を記入して下さい。

（2ヶ月以上をまとめてもらっている場合は、月割りにならして下さい。）（□に数字を記入）

- ①厚生年金（特別支給の老齢厚生年金、障害厚生年金、遺族厚生年金を含みます。） 約  万  千円（月当たり）
- ②国民年金（老齢基礎年金、障害基礎年金、遺族基礎年金、寡婦年金を含みます。） 約  万  千円（月当たり）
- ③共済年金 約  万  千円（月当たり）
- ④企業独自の退職年金（厚生年金基金、確定給付年金、確定拠出年金、適格退職年金など） 約  万  千円（月当たり）
- ⑤国民年金基金 約  万  千円（月当たり）
- ⑥個人年金（個人型確定拠出年金を含みます。） 約  万  千円（月当たり）
- ⑦その他（労災補償年金など） 約  万  千円（月当たり）

(6) 6月のあなたの世帯の生計費は、どのくらいでしたでしょうか。（□に数字を記入）

6月のあなたの世帯の生計費 約  万  千円

F 9 現在、あなたの世帯には貯蓄がありますか。(1つだけ○、□に数字を記入)

<b>1</b> ある → 約	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	万円	<b>2</b> ない
-----------------	----------------------	----------------------	----------------------	----------------------	----	-------------

F 10 現在、あなたの世帯には借入金がありますか。(1つだけ○)

<input checked="" type="checkbox"/> <b>1</b> ある	<b>2</b> ない →	<input type="checkbox"/> F11へ
-------------------------------------------------	---------------	-------------------------------

補問(1) 現在の借入金はいくらですか。(□に数字を記入)

約

万円くらい

補問(2) 借入金のうち、住宅ローンの返済にあたる部分はありますか。  
(1つだけ○、□に数字を記入)

<b>1</b> ある →	<input type="text"/>	万円くらい	<b>2</b> ない
---------------	----------------------	-------	-------------

F 11 現在のあなたのお住まいはどれですか。(1つだけ○)

<b>1</b> 持ち家	<b>4</b> 社宅・寮
<b>2</b> 公営・公団賃貸住宅	<b>5</b> その他
<b>3</b> 借家・民間賃貸マンション	(具体的に: )

※ ご自身の就業や生活について、あるいは高齢期の就業や生活に関する政府の政策について特に感じておられることがありましたら、具体的にお書き下さい。

質問は以上です。最後までご協力頂き、ありがとうございました。  
ご記入頂きました調査票は、記入漏れがないことをご確認頂き、回収用封筒に入れて調査員にお渡し下さい。